

通学路には危険がいっぱい！

校長 青坂 信司

◆今年の4月23日京都、4月27日には千葉県と愛知県においても、登校中の児童等の列に車が突っ込み、死傷者が出る痛ましい事故が発生しました。もう既に、テレビや新聞等の報道でご存知かと思えます。朝、玄関から登校する我が子が、きちんと集団で安全に歩いていたのにも関わらず、運転手の不注意から一瞬にして命を落としたのです。亡くなったお子さんのいるご家族のお気持ちを察すると言葉もありません。

◆時折、通学路を歩いてみる場合があります。私の予想以上に、国道を走っている車が多いです。大型の運搬車両も通ります。学校前は、40キロ制限になっています。しかし、「そんなにスピードを出したら、子どもたちが危ないだろう」と思われる車もあります。轟音をたてながら、土ぼこりを舞い上げながら、歩道を歩いている私の横を車が通っていきます。その度に、子どもたちの安全をいかに確保したらいいのか、もし万が一子どもの方に車が突っ込んできたらどうなるのだろうと、恐怖心さえ覚えます。

◆先日、根室のコンビニに強盗が入りました。犯人が捕まっています。そこで、事件のあった翌朝は、子どもたちの安全を確保しなくては思い、セイコーマートさん前まで行って、子どもたちの登校を見守ることにしました。（根室の事件ということもあり、保護者の送迎等までは必要ないと判断し、学校の管理職だけで対応しました）

◆小学校から、中学校前を通過して、セイコーマートさんまで歩きました。向こうから子どもたちがヘルメットをかぶって

自転車に乗ってやってきます。子ども達は、私を見つけると、「校長先生だ！」「校長先生、おはよう！」「校長先生、おはようございます」と声をかけてくれます。とても明るく、さわやかな声。私までうれしくなっています。

◆しかし、ちょっと心配なこともあります。自転車がふらつく子もいるということです。挨拶をかわして、自転車に乗っている子のうしろ姿を見るために振り返ると、車道にフラッと落ちそうな子もいます。その前からは、スピードを出した大型ダンプ。その光景を見ると、私はヒヤッとします。

◆セイコーマートさん前まで来ると、他にも心配な事があります。交通安全指導員さんが、毎日信号機の所に立って子どもたちの安全を確保してくださっています。そのことに感謝です。それにも関わらず心配なこと。港から上ってくる坂道からセイコーマートさん前に来る時の横断です。既に皆さんもご承知のように横断歩道がありません。連合町内会でも毎年のように要望しています。しかし、諸々の事情でなかなか改善されません。

◆もう一つ心配なこと。それは市街地側の歩道が狭いということです。子どもたちが登校してくる横を車が通っていきます。良心的な運転手さんは、少しスピードを落とし、ふくらみながら横を通り過ぎます。しかし、中にはスピードを落とさず、そのまま通り過ぎる方もいます。そんな光景を見て、子どもたちの安全を確保し、命を守るために今まで以上に注意を喚起し、学校では安全指導に力を入れていきたいと思いました。